

平成26年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立岡崎小学校

校長名 府中 恵理

作成日 平成26年5月1日

学校教育目標

強いからだと豊かな心を養い、最後までよく考え、意欲的に生きる子どもの育成

育てたい子ども像

おもいやりのある子

(豊かな心)

かんがえる子

(考える力)

さきに行動する子

(実践する力)

きたえる子

(強い体と心)

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力
本年度の重点	<ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者がそれぞれの立場において、教育目標の具現化に向けた取組を行う。 保護者や地域との信頼関係を深めるとともに、地域の関係団体等とも連携し、児童の健全育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育を柱に、教育活動全体を通じて、「豊かな心を持ち、よりよく生きようとする子ども」を育成する。 自分を大切にするとともに、他の人の良さに気づき、大切にしようとする心を育む中で、人権意識を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 「楽しく、わかる授業」をめざし、個々を大切にした授業を行う。 授業や「学習タイム」等で基礎的な知識、基本的な考え方の定着を図る。 思考力・表現力を伸ばすための取組を行う。
目標達成に向けた具体的方策	<ul style="list-style-type: none"> 児童と教職員が、常に（いつでも、どこでも、誰にでも）明るく、気持ちのよい挨拶ができるよう、教育活動全体を通じて取り組む。 学校からの広報誌や参観・行事等を通じて、学校教育目標や教育活動等を保護者や地域に知ってもらう。 子どものことに関して保護者が相談しやすい環境をつくり、家庭との連携を密にして児童の健全育成に取り組む。 地域の関係団体等と連携し、児童が安全に登下校でき、学びやすい環境（通学路や災害時の安全を含む）をつくる。 児童の学年や発達の段階に応じ、地域の方々との交流を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳と他の教科等の時間を連携させた総合単元を組み、教育活動全体を通じた道徳教育を推進する。 道徳の時間等をとおして学習したことが実践に繋がる学びとなるよう教育研究を深める。 様々な教育課題を解決するための取組をすすめ、一人一人の子どもの個性を生かし、その可能性を最大限に発揮できるようにする。 様々な面において、子どもの実態を十分に把握する。 縦割り活動を充実させ、異年齢の役割を意識して支え合うとともに、何事にも意欲的に取り組める心豊かな子どもを育てる。 学年に応じた心を耕す文学作品に数多く親しませる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教材研究を深め、十分な準備のもと、授業を充実させる。 「学習タイム」において、全校で統一して計算のスキルを高めるための取組を行う。 思考力・表現力を向上させ活用力をつけるため、「紀州っ子学びノート」等を活用しながら、考えを書く力や人前で話す力を伸ばすことを大切にする。 基礎的・基本的な学力の定着を図るため、支援員（市特別支援教育支援員・和歌山大学学生）を活用する 一人一人に合ったペースで着実に学力をつけさせる。 基礎体力をつけるための取組を行う。